



性の多様性って なんだろう

あなた自身を含め、家族、友人、
あるいは若者、高齢者、子ども、障がいのある人など、
それぞれの特徴を持つ様々な人々が共生しています。

性についても、性的指向や性自認、性表現など、
人それぞれに多様な在り方や考えがあり、その人らしさ、
生き方に関わる大事な特徴、
また人権として尊重されなければなりません。

本学では、ガイドラインを策定し、性の多様性について理解を増進し、
多様な性を原因とした差別や偏見のない、すべての構成員が
安心して活動できる大学を目指して取り組んでいます。



3つのひかり 未来をつくる
広島市立大学
Hiroshima City University



その人自身の性のあり様のことを「セクシュアリティ」といいます。

性は「男性」と「女性」と2つに分けて考えがちですが、現実には明確に「男性」と「女性」の2つに分けることができない要素がたくさんあります。

セクシュアリティは多様で、**グラデーション**のようなもの、一人ひとり異なるものです。



性的指向

どのような性を好きになるか、
あるいは好きにならないか。



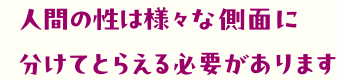
次の頭文字を並べた言葉です。



♂♀+
性自認

性表現

性的特徵



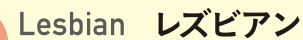
性的特徵

自分の身体が性的にどのような状態であるか、あるいは状態でないか。

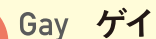


性的マイノリティ
(性的少数者)の総称です。

次の頭文字をとったものですが、
右記の在り方に限らない、
性的マイノリティ（性的少数者）の
総称として用いるのが一般的です。



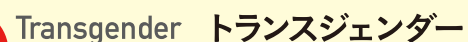
同性を好きになる女性



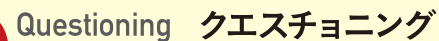
同性を好きになる男性



両性を好きになる人



出生時の戸籍上の性と性自認が一致しない人



特定の枠に属さない人、分からない人等



性はとても多様であり、
頭文字取った既存の枠に
当てはまらない様々な性の
あり方を包括するために
「+」がついています。

絶対にダメ!

同意なしに他人のセクシュアリティを勝手に言いふらすことです。

自らの性的指向や性自認を他者に明かすことは「カミングアウト」ですが、同意なしに他人のセクシュアリティを勝手に言いふらすことを「アウティング」と呼びます。

希望も同意もしていない他者の性に関わることを勝手に言いふらすことは絶対に許されません。たとえ悪意がなく、よかれと思った発言であっても、結果的にアウティングに繋がる場合があります。

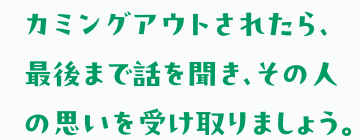
**セクシュアリティについて
困ったときは、ご相談ください。**

多様性を考えるために

自分のセクシュアリティを他の人に話すかどうかは、その人自身が決めなければなりません。

これまで公にしていなかった
自分の秘密を話すことです。

coming out of the closet を短縮した言葉で、「これまで公にしていなかった自分の秘密を話すこと」を意味します。自分の秘密とは、出生や病状などさまざまありますが、**セクシュアル・マイノリティであること**も含まれます。反対に、カミングアウトせずにいる状態を「クローゼット」と言います。



本学の窓口で対応しています



相談窓口

プライバシー保護のため担当職員を限定しています。

1



授業・学籍に関する相談

授業や通称名の使用に関すること

教務・学部運営室 教務グループ
TEL 082-830-1504
s-kyomu@m.hiroshima-cu.ac.jp

2



学生生活、 学生寮に関する相談

学生生活、学生寮に関すること

学生支援室
TEL 082-830-1522
s-gakusei@m.hiroshima-cu.ac.jp

3



悩みに関する相談

セクシュアリティの悩みに関すること

心と身体の相談センター
TEL 082-830-1510
s-health@m.hiroshima-cu.ac.jp

4



トラブルに関する相談

トラブルなどに関すること

ハラスメント相談室
s-soudan@m.hiroshima-cu.ac.jp

5



総合相談

相談先を迷ったり、不安がある場合の窓口

性の多様性支援グループ
s-sougou@m.hiroshima-cu.ac.jp

そのほか、就職やインターンシップ(キャリアセンター)、留学(国際交流推進センター)などの心配事をご相談ください。

本学での対応

基本理念

性に関する在り方や考え方などは、男女二分ではなく多様であり、一人ひとりが固有する SOGIESC (性的指向・性自認・性表現・身体の性的特徴)は、人権として尊重されなければなりません。

しかし、性の多様性に関する理解が進んでいるとは言えない現状があり、このため、自身の SOGIESC に関し、悩み、あるいは大学を含む社会生活等において困難や苦痛、偏見や差別に直面する方々がいるという現実があります。

この基本認識の下、広島市立大学は、学生・教職員の性の多様性に関する理解を増進し、SOGIESC を理由とする困難や苦痛、偏見や差別のない、すべての構成員が安心して活動できる大学を目指します。

基本方針

基本理念に基づき、次を基本方針として取り組みます。

- (1) 研修や啓発などにより性の多様性に関する理解を増進し、SOGIESC を理由とする偏見や差別のない環境づくりを進めます。
- (2) SOGIESC に関する情報をプライバシーとして保護し、慎重に取り扱います。
- (3) SOGIESC に関する困難等を有する方への対応に当たっては、上記のほか、次のように取り組みます。
ア 安心して活動できる環境を確保するため、大学生活全般に関して合理的配慮を図ります。
イ 困難等の解決に向け、本人を中心として、本学の関係者とで十分に話し合います。
ウ 話し合いや対応に当たっては、本人の意志や選択を最優先のものとして尊重します。

本学の具体的な対応については、ガイドラインをご覧ください。

